

東京金山会通信 No.31

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

爽やかな空気と高い青空。何といっても10月は東京の最高の季節です。東京もやっと緊急事態宣言が終わり、これからいつもの生活が再始動できればいいですね。

「東京金山コラム」Vol.10 「最上義光と大手門」

東京駅の美しいレンガ姿の目の前、皇居大手門。かつては徳川家康の居城の江戸城でした。徳川親藩、譜代のなか、江戸城の目の前に最上家の江戸屋敷を賜りました。これは、義光への何よりの家康の信頼の証だったのでしょ。今は地下鉄大手町駅、千代田線側のあたり。日本有数のオフィス側。高いビルに囲まれながら空を見上げると、皇居の緑と相まって清々しい陽の光。特にこの季節、朝の空気は最高に気持ちがいい。最近話題になった、東京のワクチン大規模自衛隊センターもこの界限。山形の誇りへ思いを馳せながら、東北のみならず、武勇を全国に馳せた、義光の威光に触れる気持ちになります。



東京プレシャスデイズ 「修学旅行の職場訪問より」

職場訪問を初期から支えて頂いた佐藤保さん(蒲沢出身)。2000年から今に至るまで日本人の誰もが知るブランド、ソニー本場で、金山中の職場訪問で生徒を受け入れてきました。今回は佐藤さんから職場訪問時のエピソードを紹介します。

職場訪問は、将来の職業人のヒントになればとの思いで関わってきました。事前に「質問項目」が生徒側から郵送され、これに答える形で応じています。2016年の話題になりますが、巨大市場のVTR販売について、ベータとVHSで激戦が起き、VHS陣営に敗北したことを説明しました。そうすると、後日生徒から「どんなに素晴らしい技術でも、消費者に買ってもらえない商品では意味がないという、佐藤さんの言葉が残っています」という感想文を頂き、うれしく思いました。東京で見る金山中の生徒たちはとても積極的で、都会的な雰囲気を感じています。今後とも杉とスキーの「金山ブランド」に誇りをもって勉学に励んでください。

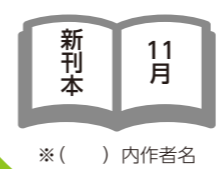


No.189 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『おこりんぼママとにこにこママおに』
(さとうなつき/作・絵 一つ企画)

ぼくのママいつも怒ってる
「いつまで寝てるの！早く起きなさい！」 ガミガミ
「またこぼして！ちゃんと拭きなさいよ！」 ガミガミ
「こらー!!やめなさいー!!」 ガミガミ
「なんなの、この点数!!まったくあんたって子は…」
ガミガミ
「そんなに怒ってばかりいると、鬼になっちゃうよ」
ある日、ママの頭に…
いつも怒ってるママといつも笑ってるママ鬼の毎日です。にこにこママ鬼のように優しいママになりたい皆さんに。



教場X刑事指導官・風間公親(長岡弘樹) / 透明な螺旋(東野圭吾) / カミサマはそういない(深緑野分) / ニコニコ汲み取り屋(橋本俊幸) / さよならも言えないうちに(川口俊和)

おまえなんかに会いたくない(乾ルカ) / 硝子の塔の殺人(知念実希人) / さみだれ(矢野隆) / 野草をおいしく食べる本(大海淳) / きっと誰かに教えなくなる蚊学入門(一盛和世)

「図書室だより」 中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



『ちかぎる天気図鑑』
(荒木健太郎 / KADOKAWA)

雲、雨、雪、虹、台風、竜巻など空(気象)にまつわる、面白くてためになる知識を優しく紹介。積乱雲の自虐的ともいえる性質、虹は半円形ではないこと、雨滴のつべんはとがってない…などなど、思わず「そうなんだー!」と思ってしまうブックが盛りだくさん。近年の豪雨、巨大台風、大雪にまつわる話題も豊富。



『ミラーワールド』
(椰月美智子 / 角川書店)

女が外で稼いで、男は家を守る。池ヶ谷良夫は学童保育で働きながら主夫をこなす、中林進は勤務医の妻と子供達のために尽くし、澄田隆司は妻の実家に婿入りし義父と理容室を営んでいた。それぞれが忙しく理不尽を抱きながら、妻と子を支えようと奮闘してきた。そんななか、ある生徒が塾帰りの夜道で襲われてしまう…。

今月は10冊!

子どもの放課後時間

集落支援員 栗田 伸一



こんにちは、集落支援員の栗田です。
サラリーマンにアフター5という時間があるように、子どもにはアフタースクールという時間があります。学校の終わった後の時間、つまり放課後です。その時間に本来あるべき「体験の場」を取り戻そうと考え、放課後スポーツ教室を始めました。8月からは「マラソン教室」と10月からは「スポーツ鬼ごっこ教室」です。基本は遊びの時間です。そこで求めるものは「楽しさ」と「汗」です。子どもの頃に体験しておきたい放課後の濃密な時間を、0か1の極端な二極化にしないよう、スポーツを起点に取り組んでいます。
最も参加して欲しいのは、スポーツ少年団や部活動に所属していない、運動習慣の少



Facebookで活動を発信しています!ぜひチェックしてください!



ない子どもです。スポーツや運動、遊びに没頭する時間を子どもの時期に経験してほしいからです。彼らの経験値は未来の街を作る原資となりま。彼らが興味を持ってくれるような工夫をあれこれ悩んでみたりしています。そのよううなわけで、町民の皆さんからも放課後時間についてのアイデアをいただきたいなど、日々想っているところです。

金山杉俳句会報 第四五六回



かねやま紅風会

花簿帳に影を遊ばせて
昨夜の雨止んでをちこち虫の声
星川 キエ子

いろいろなに咲き乱るるや秋桜
秋澄むや窓を出てゆくピアノの音
岸 昭子

風に乗り金木犀の香りくる
鮎焼きて徳利傾け水入らず
高橋 洋子

限りなく湧き出る如し赤とんぼ
新涼や茶筌に残るうすみどり
鷗沼 よし子

刈り終えし稲の匂ひに深呼吸
うら哀し昏行く庭の虫の聲
阿部 一代

南無帰命菊の裾に媼逝く
秋霖や鈍に騒立つ暮岬
栗田 弥超

散歩道かざす指先赤とんぼ
夕風や鉄砲百合の香をのせて
荒屋 阿部 勝利

背を丸め亡父が釘づけ秋相撲
風に揺れコスモダンス赤白黄
菅越 庄司 けみ子

湯上がりの髪が匂へる十三夜
本堂の屋根に浮かんだ月の道
七日町 青柳 キエ子

青空へ抗ふ如し蕎麦の花
板の間や晩秋を知る足の裏
羽場 坂本 徳太郎

名湯を山懐に初紅葉
秋彼岸去りて日暮れの早さかな
上台 阿部 一步

仏縁の裾分けなるや丹波栗
供花に凝る亡母の愛した濃龍胆
七日町 村松 奈風